

# 安全データシート

## 【1 化学物質等及び会社情報】

社名 公益社団法人日本セラミックス協会  
住所 東京都新宿区百人町 2-22-17  
担当 標準化委員会  
TEL (03) 3362-5231  
FAX (03) 3362-5714  
作成 平成 19 年 4 月 16 日  
改定 平成 28 年 7 月 8 日

製品名 (社) 日本セラミックス協会標準物質 JCRM R 405, R 406 けい石粉

## 【2 危険有害性の要約】

### GHS 分類

GHS分類 : 分類出来ない (データが不足しているため)

#### 【他の危険有害性情報】

・粉じんを吸入すると、肺に影響を与え、線維症 (珪肺症) を生じることがある。また、大量に吸入または経口摂取すると、嘔吐・腹痛・下痢の症状を起こすことがある。

## 【3 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	石英、他
CAS No.	14808-60-7
成分	SiO <sub>2</sub> >95 mass%
	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <2 mass%
化学式	SiO <sub>2</sub> 、他
官報公示整理番号	安衛法 該当なし
	化衛法 (1)-548

## 【4 応急措置】

吸入した場合 : 被災者を速やかに新鮮な空気のある場所に移し、体を毛布等でおおい、保温、安静に保った後、医師の診察を受ける。  
呼吸が弱い場合及び呼吸が停止している場合は、衣類を緩め、呼吸道を確認したうえで、人工呼吸を行う。呼吸困難の場合には、酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服、靴等を脱ぎ、付着した部分を水又は石鹼水でよく洗う。もし、皮膚に炎症を生じた時は医師の診察を受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で最低 15 分以上洗眼する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗眼の際は、瞼を指でよく開き、眼球及び周囲を十分洗う。薬品で中和したり、目に軟膏や油を塗らず、速やかに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 清浄な水で口の中をよく洗浄し、意識がはっきりしていたら水を飲ませ嘔吐させた後、医師の診察を受ける (無理に嘔吐させない)。意識がはっきりしていない場合は、水を飲ませてはいけない。また無理に嘔吐させないで速やかに医師の診察を受ける。

<b>【5 火災時の処置】</b>	消火剤	この製品自体は燃焼しない。 周辺の火災状況に適する消火剤を使用する。
	特定の消火方法	周辺火災の場合の処置は次による。 ・容器を安全な場所へ移動する。 ・移動不可能な場合には、容器を破損しないように注水し冷却する。 ・周辺火災の消火に努める。
	消火を行う者の保護	消火作業は、吸入、暴露を避けるため風上より行い、空気呼吸器や循環式酸素呼吸器を着用し、不浸透性の保護衣、防火服、ゴム長靴を着用する。
	火災時の特定危険有害性	情報なし
<b>【6 漏出時の処置】</b>	人体に関する注意事項	漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。風下では作業しない。
	保護具及び緊急措置	作業の際には、暴露防止のためにガスマスク、化学用ゴーグル、ゴム長靴及び厚手ゴム手袋などの保護具を着用する。
	環境に対する注意事項	下水道、河川、湖沼、海域等に流出しないよう注意する。
	回収方法 大量の場合 少量の場合 二次災害の防止策	土砂等で流れを止め、適宜の方法により空容器に回収する。 掃除機などの集塵装置で回収する。 飛散するダスト（粉立ち）を避ける。
<b>【7 取扱い及び保管上の注意】</b>	<b>【取扱い】</b> 取扱者の暴露防止	皮膚に触れたり、目に入らないようにゴム手袋、保護眼鏡を着用する。また、粉末を吸入しないように防塵マスクを着用する。
	安全取扱注意事項	容器は、転倒、落下、衝撃を加える等の粗暴な取扱をしない。
	<b>【保管】</b> 保管上の注意事項 容器包装材料	直射日光及び高温多湿の場所を避け、密封して保管する。 浸透性の容器は避ける。
<b>【8 暴露防止及び保護措置】</b>	<b>【管理濃度】</b>	設定されていない。
	<b>【許容濃度】</b> 日本産業衛生学会 ACGIH(2006年版)	設定されていない。 TLV-TWA 0.025mg/m <sup>3</sup>
	<b>【設備対策】</b>	取扱場所には、局所排気設備を設置する。また取扱場所の近くにシャワー、手洗い、洗顔装置を設けその位置を明示する。
	<b>【保護具】</b> 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 身体の保護具	防塵マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する。 保護眼鏡、又は防災面を着用する。 暴露の状況を考慮し、適切な保護衣、安全靴を着用する。
	<b>【適切な衛生対策】</b>	眼・皮膚を刺激する。眼・皮膚・衣服への接触を避ける。粉塵または上記の吸入を避ける。取扱後に十分に洗浄する。洗眼器及び安全シャワーを備える。
<b>【9 物理的及び化学的性】</b>	<b>【物理的状态】</b> 形状	固体（粉末）
	色	無色、白色
	臭い	無臭
	<b>【物理状态が変化する特定の温度/温度範囲】</b> pH	情報なし
	融点	情報なし
凝固点	情報なし	

	初留点と沸点範囲	情報なし
	【引火点】	情報なし
	【蒸発速度】	情報なし
	【燃焼性】	情報なし
	【爆発特性】	
	爆発限界下限	情報なし
	爆発限界上限	情報なし
	【蒸気圧】	情報なし
	【蒸気密度】	情報なし
	【密度】	情報なし
	【溶解度】	水に不溶
	【nオクタノール/水分配係数】	情報なし
	【自然発火温度】	情報なし
	【分解温度】	情報なし
<b>【10 安定性及び反応性】</b>	<b>【化学的安定性・反応性】</b> : 通常取扱条件（常温）では安定している。 <b>【危険有害反応性の可能性】</b> : 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。強酸・フッ化水素と反応する。 <b>【避けるべき条件】</b> : 粉じんの拡散 <b>【混触危険物質】</b> : 強酸化剤、強酸・フッ化水素 <b>【危険有害な分解生成物】</b> : 情報なし	
<b>【11 有害性情報】</b>	<b>【急性毒性】</b> 情報なし <b>【局所効果】</b> 皮膚腐食性・刺激性 皮膚に炎症を起こす可能性がある。 眼に対する重篤な損傷 眼に炎症を起こす可能性がある。 呼吸器感作性 情報なし 皮膚感作性 情報なし <b>【生殖細胞変異原性】</b> 情報なし <b>【発癌性】</b> IARC：グループ1：人に発癌性がある。 <b>【生殖毒性】</b> 情報なし <b>【特定標的臓器・全身毒性単回暴露】</b> 情報なし <b>【特定標的臓器・全身毒性反復暴露】</b> 肺に影響を与え、繊維症（珪肺症）を生じることがある。人で発癌性を示す。 <b>【吸引力呼吸器有害性】</b> 情報なし	
<b>【12 環境影響情報】</b>	生態毒性 情報なし 残留性/分解性 情報なし 生体蓄積性 情報なし 土壌中の移動性 情報なし	
<b>【13 廃棄上の注意】</b>	決して投棄してはならない。 法令・都道府県条例に従い廃棄する。 多量の処理は、産業廃棄物処理業者に依頼する。 当品を含む廃水は排水溝に廃棄せず、ろ過にて除去後に排出する。 空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後処分する。	

---

**【14 輸送上の注意】**

国際規制によるコード及び分類に関する情報

国連分類：該当せず

国連番号：該当せず

輸送の特定の安全対策及び条件

各種法規を遵守しなければならない。

容器の転倒、落下、摩擦等によって損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に  
行う。また、高温高湿、水濡れを防止する。

---

**【15 適用法令】**

消防法

該当せず

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物質（政令第18条の2別表第9）

PRTR法

該当せず

毒劇法

該当せず

---

**【16 その他の情報】**

引用文献

1) 化学便覧：基礎編 改定3版 日本化学会編

2) 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編

3) 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター発行 石英MSDS

---

**<注意>**

この安全データシートは、製品の安全な取扱いを確保するため、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅しているわけではありませんので、お取扱いにはこの情報に基づき自らの責任において適切な処置を講じてください。

本SDSの記載内容は、情報提供であり記載した製品の取扱い上のいかなる保証をするものではありません。

ご使用になるお客様の使用目的や使用した結果につきまして、いかなる責任を負うものではありません。